



Synaps

Prints like paper.

よくあるご質問

詳細情報

SYNAPS PS

OM135 / AP – OM135AR

内容

1	インク - SYNAPS OM135/AP-AR でオフセット印刷するために推奨される濃度とは何ですか？	4
2	インク - SYNAPS-OM135/AP-AR で印刷するために特殊なオフセット用インクが必要ですか？	4
3	インク - UV 硬化オフセットインクにより SYNAPS OM135/AP-AR で印刷することができますか？	4
4	インク - SYNAPS OM135/AP-AR はニスまたは水性コーティング処理（ラッカーディスペンサー）により重ね刷りすることができますか？	4
5	インク - SYNAPS OM135/AP-AR はオフセットポスター印刷用途に最適ですか？	5
6	インク - インクオフセットの問題が発生する場合の推奨事項とは何ですか？	5
7	印刷 - UV インクジェットにより SYNAPS OM135/AP-AR で印刷することができますか？	6
8	印刷 - HP Indigo プレスで SYNAPS OM135/AP-AR を印刷することができますか？	6
9	印刷 - Latex Inkjet プリンターで SYNAPS OM135/AP-AR を印刷することができますか？	6
10	印刷 - Riso デュプリケーターで SYNAPS OM135/AP-AR を印刷することができますか？	6
11	印刷 - Océ Colorwave プリンターで SYNAPS OM135/AP-AR を印刷することができますか？	7
12	印刷 - デスクトップインクジェットプリンターで SYNAPS OM135/AP-AR を印刷することができますか？	7
13	印刷 - スクリーン印刷用に SYNAPS OM135/AP-AR を使用することができますか？	7
14	印刷 - Flexo プリンティングプレスで SYNAPS OM135/AP-AR を印刷することができますか？	7
15	印刷 - 熱転写プリンターで SYNAPS OM135/AP-AR を印刷することができますか？	7
16	印刷 - ドライトナープリンターで SYNAPS OM135/AP-AR を印刷することができますか？	7
17	印刷 - SYNAPS OM135/AP-AR のライナー側に印刷することは可能ですか？	8
18	仕上げ処理 - ギロチン裁断機で SYNAPS OM135/AP-AR を切断できますか？	8
19	仕上げ処理 - SYNAPS OM135/AP-AR はダイカット用に使用できますか？	8
20	仕上げ処理 - レーザー切断装置で SYNAPS OM135/AP-AR を切断できますか？	8
21	仕上げ処理 - ローリングトリマー及びカッティングプロッターで SYNAPS OM135/AP-AR を切断できますか？	8
22	仕上げ処理 - グラフィックドリル加工装置で SYNAPS OM135/AP-AR をドリル加工できますか？	9
23	仕上げ処理 - SYNAPS OM135/AP-AR はラミネートできますか？	9
24	仕上げ処理 - 熱箔転写処理用に SYNAPS OM135/AP-AR を使用できますか？	9
25	その他 - SYNAPS OM135/AP-AR は書き込み可能ですか？	9
26	その他 - SYNAPS OM135/AP-AR の白色度は、日光に曝露されると変化しますか？	9
27	その他 - SYNAPS OM135/AP-AR はシートとロールで利用できますか？	9
28	その他 - SYNAPS OM135/AP-AR は、食品との直接接触での使用に適格性がありますか？	10
29	その他 - SYNAPS OM135/AP-AR は化学薬品耐性がありますか？	10
30	その他 - SYNAPS OM135/AP-AR の廃棄物処理に関する推奨事項とは何ですか？	10
31	その他 - SYNAPS OM135/AP-AR を洗浄または消毒できますか？	10

この情報は、このテーマに関して現在入手可能な物の中で最高のものになります。ただし、ここに記載されている結果は材料の特性に関する一般的な目安というだけで、この内容が保証されているというわけではありません。詳細については、agfaの marketingsynaps@agfa.com にお問い合わせ下さい。Agfa、Agfa rhombus、およびSynapsは、ベルギーのAgfa-Gevaert NVまたはその関連会社の商標です。



32 持続可能性 – PVC フリー : SYNAPS OM135/AP-AR が PVC フリーであることが重要な理由はなんですか？
11

この情報は、このテーマに関して現在入手可能な物の中で最高のものになります。ただし、ここに記載されている結果は材料の特性に関する一般的な目安というだけで、この内容が保証されているというわけではありません。詳細については、agfaの marketingsynaps@agfa.com にお問い合わせ下さい。Agfa、Agfa rhombus、およびSynapsは、ベルギーのAgfa-Gevaert NVまたはその関連会社の商標です。



1 インク - SYNAPS OM135/AP-AR でオフセット印刷するために推奨される濃度とは何ですか？

SYNAPS OM135/AP-AR でのインク処理のために推奨される濃度（湿式印刷、背景が白地での測定）は次です：

K : 1.50 - C : 1.20 - M : 1.15 - Y : 1.20。

Pantone カラーまたはその他のその他のスポットカラーで印刷するために、参照として、コーティング未処理用紙に関して（Pantone またはスポットの）カラーサンプルを使用します。

2 インク - SYNAPS-OM135/AP-AR で印刷するために特殊なオフセット用インクが必要ですか？

特殊なインクは必要ありません。特別な酸化乾燥インクを使用する必要はありません。標準オフセットインクは SYNAPS-OM135/AP-AR で印刷するために最適です。

インクに混合する特殊な乾燥剤または湿し水は推奨されません。

3 インク - UV 硬化オフセットインクにより SYNAPS OM135/AP-AR で印刷することができますか？

はい。UV オフセットにより SYNAPS OM135/AP-AR で印刷することができます。インクを十分に硬化させるために UV ランプ電力を 1 レベルだけ上げるように設定します。

LED 型 UV ランプはより少量の発熱であるため、従って、基盤の波打ち発生をより低減させることとなります。

更に、LEC（低エネルギーキュア）UV インクは SYNAPS OM135/AP-AR と互換性があります。

4 インク - SYNAPS OM135/AP-AR はニスまたは水性コーティング処理（ラッカーデイスペンサー）により重ね刷りすることができますか？

はい。ニスは実際には透明インクであるため、当社ではフルカラージョブ上に厚すぎる層となるニスを印刷しません。インク乾燥問題及びオフセット処理問題を招く可能性がある厚すぎる層を適用する場合、コーティング層を飽和させる可能性があります。1 層のニスを適用する場合、カラー濃度が増加してしまうため、当社ではそのニスを適用する前に、若干低い濃度で印刷することを推奨しています。

SYNAPS OM135/AP-AR は 1 層のコーティング層を持つため、インク（及びニス）を非常に良好に吸収するため、1 層の光沢ニスを適用する場合、高品質イメージ分布による領域上での光沢効果及びイメージ分布が皆無であるかもしくは少ない状態の領域上でのマット効果を確認できるようになります。

これらの光沢及びマット効果を回避するには、SYNAPS OM の印刷イメージを保護したい場合は、印刷機のラッカーユニットが厚い層を適用するため、水性コーティング（分散ラッカー）を適用することを推奨します。分散ラッカーは即乾性であるため、プリンターでは複数層が適用される可能性もあるため、高度の光沢 + 良好なイメージ保護が達成されることとなります。

この情報は、このテーマに関して現在入手可能な物の中で最高のものになります。ただし、ここに記載されている結果は材料の特性に関する一般的な目安というだけで、この内容が保証されているというわけではありません。詳細については、agfaの marketing@agfa.com にお問い合わせ下さい。Agfa、Agfa rhombus、および Synaps は、ベルギーの Agfa-Gevaert NV またはその関連会社の商標です。



5 インク - SYNAPS OM135/AP-AR はオフセットポスター印刷用途に最適ですか？

はい。当社は顧客に高度耐光性特性を有するインク（スケール 1~8）を選択するよう助言しています。特に黄とマゼンタは、日光に長時間曝露されると退色する傾向があります。

全てのインクサプライヤーでは、高度な耐光性を備えたインクシリーズがあるため、担当のインクサプライヤーにお問合せください。

分散ラッカー及び重ね刷りニスにより、濃度が増加し、耐光性特性が改善します。

市場にはカラー保護特性を備えた特別な UV コーティングがあるので、そのため、このような専用の UV コーティングでポスターを重ね刷り場合は、より高濃度で、良好な印刷保護を達成できます。

6 インク - インクオフセットの問題が発生する場合の推奨事項とは何ですか？

従来のインクタイプが SYNAPS OM135/AP-AR での印刷に推奨されます。特殊酸化インクは、オフセットの問題をより引き起こしやすい傾向があります。プロセスカラーを印刷する場合は、インク濃度の推奨事項については、次の当社印刷ガイドラインに従ってください（K : 1.50 - C : 1.20 - M : 1.15 - Y : 1.20）。

Pantone カラーを印刷する場合は、印刷濃度を調整するための参照として、Pantone カラーサンプルブックを使用してください

重要なことは、光沢紙ではなく、未コーティング用紙に印刷されたサンプルブックを使用することです。そうでない場合は、高すぎる濃度での印刷は、SYNAPS OM135/AP-AR コーティング層を飽和させ、インク定着の遅延、インク乾燥不良、オフセットの発生などの問題が発生する可能性があります。

もう 1 つの注意点は、インク及び水の混合です。最高の印刷結果及びインク乾燥特性は、プリンターが「エッジ側にある」印刷をする場合に得られ、これは、プリンターが非イメージ部分をクリーンに維持するために十分に高い湿しレベルにより印刷することを意味します。湿し水レベルが低いということは、印刷機でのインクレベルが低く、乳化が少ないことを意味します => 最高の印刷条件。

湿し水添加剤の混合に関する推奨事項を確認するよう印刷者に依頼してください。恐らく、インクの乾燥特性にマイナスの影響を与える高すぎる用量を混ぜてしまう場合があります。ユーザーが自動湿し水溶液投与混合システムを使用する場合、投与システムが正しく機能するかどうかを確認するようにユーザーに依頼してください（投与システムをオフにし、湿し水タンクを空にして、手動で作成された正しい湿し水溶液混合物で再試行することができます）。

プリンターのすべてがオフセット印刷機側で制御されている場合、SYNAPS OM135/AP-AR でオフセットの問題は発生しません。

非常に重いイメージ及び暗いイメージ（例：イメージ範囲が 250%超）を印刷する場合は、わずかな裏移り防止パウダーを推奨します。

7 印刷 - UV インクジェットにより SYNAPS OM135/AP-AR で印刷することができますか？

はい。当社の経験では、UV インクジェット印刷機オペレーターは、SYNAPS OM135/AP-AR で UV インクジェットを印刷するための適切な作業ポイントを探しだす必要があります。印刷機の設定は、イメージ範囲及びインクジェット印刷機のタイプ（特に UV ランプのタイプ）に依存します。

適切な作業ポイントを達成するには、オペレーターは次を「実施」する必要があります：UV 出力、真空設定、ロール張力、印刷速度、インク層（%イメージ範囲）。

基盤の波打ちを避けるために、インクを硬化させるのに十分な UV 出力を設定するようオペレーターに助言してください。LED 型 UV ランプは若干基盤の波打ちを発生させにくいですが。

8 印刷 - HP Indigo プレスで SYNAPS OM135/AP-AR を印刷することができますか？

SYNAPS OM135 / AP-AR は、HP Indigo シートフィードプレスで印刷可能です。

非常に長時間稼働については、経験則では紙の印刷よりも早期にブランケットを交換することが必要であることが分かっています。HP Indigo を十分に硬化させるためにブランケット温度を 1 レベルだけ上げるように調整します。

ElectroInk はブランケットの寿命を延ばせます。

HP Indigo ウェブプレスで SYNAPS OM135/AP-AR を印刷するために、印刷する前に 1 層のプライマーを適用する必要があります。

9 印刷 - Latex Inkjet プリンターで SYNAPS OM135/AP-AR を印刷することができますか？

Latex で SYNAPS OM135/AP-AR に印刷することは可能ですが、以下の推奨事項を考慮する必要があります。

乾燥設定が高すぎることにより基盤の波打ちを防ぐために、印刷速度は低速にする必要があります（多数パスでの一方向印刷）。重いイメージはこれらの現象が発生しやすい傾向があります。

最適な作業ポイントを検索し、重要なジョブを事前にテストする必要があります。

10 印刷 - Riso デュプリケーターで SYNAPS OM135/AP-AR を印刷することができますか？

いいえ。SYNAPS OM135/AP-AR は Riso デュプリケーターシステムと互換性がありません。

11 印刷 - Océ Colorwave プリンターで SYNAPS OM135/AP-AR を印刷することができますか？

いいえ。印刷結果は問題ないように見えますが、印刷されたイメージは、プリンタのホイールをガイドすることにより発生するマーキングに対して非常に敏感です。更に、印刷されたイメージは非常に傷に弱いため、これらのタイプのプレスで SYNAPS OM135/AP-AR を使用することは推奨されません。

12 印刷 - デスクトップインクジェットプリンターで SYNAPS OM135/AP-AR を印刷することができますか？

いいえ、SYNAPS OM135/AP-AR はデスクトップインクジェットプリンターと互換性がありません。SYNAPS OM135/AP-AR のコーティング層は、水性インクを拒絶します。

13 印刷 - スクリーン印刷用に SYNAPS OM135/AP-AR を使用することができますか？

はい。SYNAPS OM135/AP-AR は、UV 及び溶剤スクリーン印刷機で成功裏にテストされました。

14 印刷 - Flexo プリンティングプレスで SYNAPS OM135/AP-AR を印刷することができますか？

はい。SYNAPS OM135/AP-AR は、水性フレキソインク（熱風乾燥）及び UV フレキソインク（UV ランプ硬化）でテストしました。

両方のテストは成功しています。

15 印刷 - 熱転写プリンターで SYNAPS OM135/AP-AR を印刷することができますか？

はい。ワックス/レジリボンを配備した Thermaline T5000R 熱転写プリンターで SYNAPS OM135/AP-AR を成功裏にテストしました。

16 印刷 - ドライトナープリンターで SYNAPS OM135/AP-AR を印刷することができますか？

はい。SYNAPS OM135/AP-AR は、様々なドライトナープリンターで印刷できますが、完璧な印刷結果は、使用するドライトナープリンターの能力に依存することを知ることが重要です。

次の推奨事項を考慮する必要があります。

この情報は、このテーマに関して現在入手可能な物の中で最高のものになります。ただし、ここに記載されている結果は材料の特性に関する一般的な目安というだけで、この内容が保証されているというわけではありません。詳細については、agfaの marketingsynaps@agfa.com にお問い合わせ下さい。Agfa、Agfa rhombus、およびSynapsは、ベルギーのAgfa-Gevaert NVまたはその関連会社の商標です。



フューザードラム上の接着剤の堆積を防ぐため、フューザーの設定を高くしすぎないでください。基盤上のトナーを硬化させるために十分に高いフューザー設定を使用します（印刷イメージを指の爪で引っ掻き、トナーの付着をテストします）。

印刷物を積み重ねたものでの発熱を避けるために、20枚を超えて連続でシートを印刷しないでください。

1個の特定のジョブに SYNAPS OM135/AP-AR を使用することを決定する前に、常に1回の互換性テストを実行してください！

17 印刷 - SYNAPS OM135/AP-AR のライナー側に印刷することは可能ですか？

はい。SYNAPS OM135/AP-AR の裏面（ライナー側）を印刷できます。

推奨事項は以下のとおりです：

- 最初に SYNAPS OM135/AP-AR 側を印刷します。2番目の印刷段階では、ライナー側を印刷できます。
- ライナー側を酸化乾燥インク（酸化によりのみ乾燥する特殊なフオイルインク）で印刷します。
- ライナー側に大量のインク分布で印刷しないようにしてください。多量のインクの付着は、乾燥がより困難であり、裏移りの問題を招きやすくなります。

18 仕上げ処理 - ギロチン裁断機で SYNAPS OM135/AP-AR を切断できますか？

はい。硬化鋼の切断刃は、最適なカット加工結果のために、鋭利で、切り口が滑らかである必要があります。5cm（2インチ）を超える高さのリフトを切断しないでください。カッティングブレードの角度は重要です。ブレードの角度が鋭利であるほど、カットも滑らかになります。

19 仕上げ処理 - SYNAPS OM135/AP-AR はダイカット用に使用できますか？

内角が丸みを帯びた鋭利な硬鋼ブレードを使用します。90度未満または90度での内側のダイカットは避けてください。バリを除去する場合の断裂を防ぐために、保持ポイントを小さく、数を少なくしてください。最良の結果は、シリンダータイプのプレスで得られます。プラテンタイプのプレスは、特に複雑なダイカット形状にはあまり適していません。

20 仕上げ処理 - レーザー切断装置で SYNAPS OM135/AP-AR を切断できますか？

はい。レーザー切断は良好に機能します。カット可能装置の出力は、基盤の厚さに従い、調整する必要があります。SYNAPS OM135 / AP-AR でもレーザーキスカット加工が可能です

21 仕上げ処理 - ローリングトリマー及びカッティングプロッターで SYNAPS OM135/AP-AR を切断できますか？

はい。ローリングトリマー及びカッティングプロッターは SYNAPS OM135/AP-AR と良好に機能しますか？ SYNAPS OM135/AP-AR の使用を決定する前に、1回のテストを推奨します。

この情報は、このテーマに関して現在入手可能な物の中で最高のものになります。ただし、ここに記載されている結果は材料の特性に関する一般的な目安というだけで、この内容が保証されているというわけではありません。詳細については、agfaの marketing@agfa.com にお問い合わせ下さい。Agfa、Agfa rhombus、およびSynapsは、ベルギーのAgfa-Gevaert NVまたはその関連会社の商標です。



22 仕上げ処理 - グラフィックドリル加工装置で SYNAPS OM135/AP-AR をドリル加工できますか？

はい。鋭く、滑らかなドリルビットを使用してください。ドリルには傷がないことが必要です。熱の発生を解消するためにドリル加工の際に短い切削時間を使用します。高すぎるリフトをドリルしないでください。推奨されるドリルは、テフロンコーティングされたスチールドリルです（固着防止のため）。可能な場合、発熱を防ぐためにドリルの速度を下げてください。

「ドライシリコンスプレー」によるドリルの内部及び外部表面への中間スプレー処理またはワックスペーパー内への中間ドリル加工（ドリルビット内部の潤滑）は、ドリル加工を容易にし、ドリルの寿命と切れ味を大幅に延長させます。最良の結果は、ドリルビット潤滑及びドリルビット冷却機能を配備したドリル機器により得られます。

23 仕上げ処理 - SYNAPS OM135/AP-AR はラミネートできますか。

はい。SYNAPS OM135/AP-AR は、PET/PE フィルム及び OPP フィルムによりラミネートできます。動作温度は 120°C（248°F）を超過してはいけません。PVC によるテスト項目では成功しませんでした。

24 仕上げ処理 - 熱箔転写処理用に SYNAPS OM135/AP-AR を使用できますか？

はい。SYNAPS OM135/AP-AR は熱箔転写処理用に使用できます。

25 その他 - SYNAPS OM135/AP-AR は書き込み可能ですか？

はい、SYNAPS OM135/AP-AR はボールペン、万年筆、鉛筆で書き込み可能です。しかしながら、SYNAPS OM135/AP-AR の多孔質コーティングは、消去を不可能にします。アルコールまたは溶剤ベースのマーカーペンを使用する場合、同じ場所を多数回なぞる場合、SYNAPS OM135/AP-AR のコーティング層は確実に溶解します。

更に、SYNAPS OM135/AP-AR で蛍光ペン（テキストマーカーペン）を使用してテストを実行しましたが、何らコーティング層の溶解も見られませんでした。

26 その他 - SYNAPS OM135/AP-AR の白色度は、日光に曝露されると変化しますか？

若長時間曝露在“未經過滤”的阳光下，SYNAPS OM135/AP-AR 合成纸会略显黄色。经过这一转变后，白度将保持不变。

若长时间曝露在“经过过滤”的阳光下（例如在汽车的仪表板上），SYNAPS OM135/AP-AR 合成纸会变得略微发白。

重要提示：在这两个测试中，SYNAPS OM135/AP-AR 合成纸均未显示任何脆性或劣化迹象。

27 その他 - SYNAPS OM135/AP-AR はシートとロールで利用できますか？

いいえ。SYNAPSOM135 / AP-AR はシートでのみ入手可能です。詳細については、www.agfa.com/synapsを確認してください。

。

この情報は、このテーマに関して現在入手可能な物の中で最高のものになります。ただし、ここに記載されている結果は材料の特性に関する一般的な目安というだけで、この内容が保証されているというわけではありません。詳細については、agfaの marketingsynaps@agfa.com にお問い合わせ下さい。Agfa、Agfa rhombus、およびSynapsは、ベルギーのAgfa-Gevaert NVまたはその関連会社の商標です。



28 その他 - SYNAPS OM135/AP-AR は、食品との直接接触での使用に適格性がありますか？

いいえ。SYNAPS OM135/AP-AR は、食品との直接接触での使用に適格性がありません。

29 その他 - SYNAPS OM135/AP-AR は化学薬品耐性がありますか？

ラボテストは、以下の流体により実施されました（社内 AGFA テストメソッド - 10 分間の浸漬）：

脱塩水 => 非侵襲性

NaCl（塩化ナトリウム溶液） 10% => 火侵襲性

H2SO4（硫酸溶液） 38% => 非侵襲性

エタノール（エチルアルコール） => 侵襲性

アセトン => 侵襲性

30 その他 - SYNAPS OM135/AP-AR の廃棄物処理に関する推奨事項とは何ですか？

SYNAPS OM135/AP-ARには、プラスチックリサイクルコード「7-その他」があります。SYNAPS OM135/AP-ARは、例えば、PETボトルの製造に使用されるポリエステルタイプとは全く異なったポリエステルです。印刷した後でも、リサイクルできますが、SYNAPS OM135/AP-ARは、環境的回収コスト及び廃棄物選別コストが環境的利益より高いため、廃棄物として処理されます。廃棄物処理の規制は国・地域による異なる場合があるため、現地の規制を参照してください。

31 その他 - SYNAPS OM135/AP-AR を洗浄または消毒できますか？

はい。推奨事項は以下のとおりです：

- 一般的なソフト型台所用洗剤または水で希釈したハンドソープを使用します。低濃度のアルコール含有量（<40%）製品は、SYNAPS OM135/AP-AR の消毒に使用できます。
- ソフト型洗剤及び水の混合液に浸した柔らかい布で表面を優しく拭きます。
- 水道水ですすぎ、柔らかい布で拭き取り、乾燥させます。

以下は推奨されません：

- 原液の濃縮型ソープの使用 - 常に希釈すること！
- マイクロファイバー製の布を使用すると、印刷されたイメージの表面を研磨し及び/または損傷する可能性があります。
- 研磨粒子（例：ミョウバンなど）を含有する万能クリーニング製品を使用すると、印刷されたイメージを損傷する可能性があります。
- 高濃度のアルコール含有量の消毒剤製品（例：60%イソプロパノール（IPA）もしくは60%エタノール（エチルアルコール）、またははその両方の混合物）を使用すると、印刷されたイメージを損傷する可能性があります。

この情報は、このテーマに関して現在入手可能な物の中で最高のものになります。ただし、ここに記載されている結果は材料の特性に関する一般的な目安というだけで、この内容が保証されているというわけではありません。詳細については、agfaの marketingsynaps@agfa.com にお問い合わせ下さい。Agfa、Agfa rhombus、およびSynapsは、ベルギーのAgfa-Gevaert NVまたはその関連会社の商標です。



32 持続可能性 – PVC フリー：SYNAPS OM135/AP-AR が PVC フリーであることが重要な理由は何ですか？

PVC フリーという用語は、SYNAPS OM135/AP-AR が塩素またはフタル酸エステル（一部の PVC の 2 個の毒性成分）を保持していないことを意味しています。フタル酸塩は、PVC を柔軟にする添加剤ですが、容易に吸引または摂取されるような容易に物質間で移行または蒸発するため、健康に有害であると報告されています。これが、フタル酸エステルを含有する製品が 1999 年以来欧州連合により 3 歳未満の子供のおもちゃ用に禁止されている理由です。塩素は水銀を放出させる生産の際の副産物である有害物質であり、またダイオキシンを環境に放出されます。ダイオキシンは、国際がん研究機関（世界保健機関、WHO の部門）により、ヒトにがんを発生させることが既知であると分類されています。

ダイオキシンの効果の詳細：<http://www.who.int/mediacentre/factsheets/fs225/en/>